

名古屋鉄道と GOOD AID が資本業務提携します

名古屋鉄道株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役:高崎裕樹、以下「名古屋鉄道」と)、薬局を中心としたヘルスケアサービスを運営する GOOD AID 株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役:服部雄太、以下、「GOOD AID」)は、名古屋鉄道沿線地域におけるヘルスケアサービスの展開強化を目的として資本業務提携契約を締結しました。

詳細は、下記の通りです。

記

1. 資本業務提携の背景

名古屋鉄道は、名鉄グループ中期経営計画「Turn-Over2023 ～反転攻勢に向けて～」で掲げる重点テーマ「グループ一体となった沿線・地域の活性化」の一環として、『沿線地域へのヘルスケアサービスの展開強化』を検討しています。

一方、GOOD AID は社会課題となっている「膨らみ続ける国民医療費」を抑制するための解決策として、一人ひとりが健康に責任を持ち自己管理をする”セルフメディケーション”の促進に注力してきたほか、今後は街ナカの薬局を中心として健康に関する地域の機関・企業・サービスをつなげ、街全体でセルフメディケーションを推進する「スマート健康シティ構想」の実現を目指しています。

このような背景のもと、「スマート健康シティ構想」の実現による住民の健康促進が名古屋鉄道沿線地域の持続的な成長に欠かせないものとして、同構想の実現をサポートするために名古屋鉄道は GOOD AID に出資し、両社の企業価値の最大化と地域価値向上を目指すこととしました。

2. 業務資本提携の内容

名古屋鉄道と GOOD AID は、名古屋鉄道沿線地域において「スマート健康シティ構想」の具体化を進めるための一環として、GOOD AID が名古屋鉄道の子会社である名鉄薬品の株式の一部を 7 月に取得予定です。これにより、名鉄薬品の調剤薬局 6 店舗を GOOD AID が持つノウハウを生かして運営し、当該薬局が沿線地域のお客さまの健康を支えるハブになることを目指します。

さらに今後は、①名鉄グループ内のヘルスケア機能との連携も視野に、②沿線地域のお客さまの健康づくりのサポートに両社で取り組み、地域価値向上に努めます。

以上

〈参考〉 GOOD AID のスマート健康シティ構想

未来構想 GOOD AID SMART&HEALTHY CITY GOOD AID Always with you

健康に関する、地域のあらゆる機関・企業・サービスとつながり
住民のハブとなることで、薬局から始まるスマート健康シティを実現



■GOOD AID 株式会社とは

現在中部、関東、関西の3地区を中心に調剤薬局「おだいじに薬局」（一部零売（れいばい）にも対応）と、零売薬局「セルフケア薬局」を計32店舗経営しているベンチャー企業です。約80名の薬剤師、約30名の看護師・リハビリ職が在籍し、グループ全体で社員数は約190名になります。

子会社である「セルフケア薬局株式会社」では、処方せんなしで病院の薬が買える「零売薬局」を展開しており、社会課題である「国民医療費の高騰」や「2025年問題に端を発する医療の需給バランスの崩壊」に備えて、保険だけに頼りきらないセルフメディケーションができる「街の保健室」を目指しています。

GOOD AID 株式会社ホームページ：<https://good-aid.com/>

セルフケア薬局ホームページ：<https://selfcare-sdc.com/>

以上